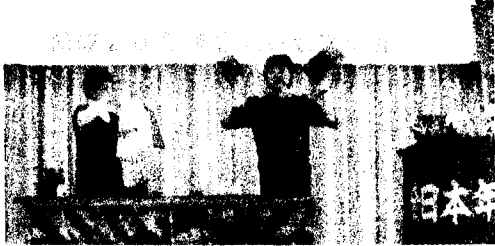


四季彩々

NO.32 2010年 5月号 隔月発行
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
岐阜市瑞穂町7-13教育会館306号 TEL 058-4253-0206
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250



土岐支部 きらびやかな衣装のマジシャン小栗百合子さん



ワークプラザ岐阜・大会会場にて、岐阜県下の大議員に挨拶をする篠塚中央委員

第12回定期大会 組合結成 20周年記念レセプション

県本部委員長

長谷川 金重

5月8日、第12回定期大会は、中央委員長、副委員長に来ていただき、岐阜県組合員の団結の場になりました。新役員も決まり、新たな出発になりました。2年前、11回大会は、1812人の組合員でしたが、昨年12月に2000人の目標が達成しました。今回の大会で、組合員2500人の峰に向かっただけでなく、前回の大会になりました。

大会後の二部、「20周年記念レセプション」は、年金者ならではの豊かな内容のお祝い事でした。記念誌担当の福井さんの話は、記念誌を通じて創立当時の貴重な苦労話の報告がありました。さらに各支部の活動報告、歌があり、また、支部活動20年を歌と劇で楽しく演出された多治見支部が見ものでした。土岐支部のセミプロ級、女性マジックショウも大きな拍手の渦でした。最後の一八会の丹羽さんのお話は、年金者組合員の心にしみるお話でした。

大会とレセプションの感想

可児支部 林 泰子

大変充実した一日でした。

午後のレセプションはすごかった。それぞれの出し物が多彩で楽しかった。そのたつたのを忘れました。出演者も観覧者も楽しめるように工夫された発表に感心しました。

付知の丹羽惟夫さんのお話は土々さ

となり、近所の人と仲良くしないで何ができるかな

みじかな人たちと楽しく活動すること自力をこやして

もっともっと大きな仲間にしていてほしい仲間が増えることは

もっともっと楽しいことなんやと、ふだん着の言葉で印象深い話。

年金者組合ってやっぱり、すごいな



レセプションで記念誌の報告の福井さん

退任余韻

県本部副委員長

福井 信郎

4年間、県本部の仕事をして頂き、今回退任することになりました。いろいろなことを学び、初めての経験もさせてもらいました。

その中の一つ——県議会へ

試行錯誤中。年金者県本部 ホームページ

県本部書記長 岡部義明

私にとってインターネットは必需品。図書館であり、百科事典です。知りたい情報を言葉で検索すると、世界中（といっても、私は外国語ではできない）の誰かがかならずホームページ（HP）に書き込んでいてくれます。自分の名前をいれてさえ、その名の入った資料が出てきます。

「岐阜県本部のHPを立ち上げよう」と長谷川委員長が08年から言っていました。立ち上げるのは、職場のHPで経験済みですが、気のきいた見やすい画面にするセンスがありません。皆さんが待ちわびるほど更新できる情報の収集能力と時間ありません。で、ぐずぐずと言葉を濁していました。

定期大会が近づいてようやく腰を上げました。しかし、整った画面にする新しい技術がありません。で、誰でも文字で検索できるよう、公開する勇気が出ません。その技術を教えてくれる方・さらに言えば一緒にホームページを管理する方が現れるのを待ちわびているところなんです。驚きあきれると思いますが、そこそこのそこの方は次のホームページアドレスを直接入力して、ご覧あれ。

<http://www.jpugifu.com/>

の請願——「最低保障年金制度創設」の国への意見書提出を求める請願のため、長谷川委員長と県議会へ出向き、まず紹介議員のお願いのため各会派を回った。

最大会派のみにお願いするのが上策らしいが、正攻法ですべての会派にお願いにあがると、一部を除いては、その対応に主権在民（県民が主）とては程遠いものを感じるとともに、請願という言葉自体に疑問を持った。結局共産党の議員さん以外は紹介議員になっ

てもらえなかった。結果は、あっさり継続審査となった。内容の是非よりも、多分にそれ以外のことで結論が出るように、何とも割り切れないうものを感じた。

それでも、不採択ではなく継続審査となったのは、いい

方なのかと思いきや、翌年、統一地方選で議会は解散。そうなるかと、継続審査も終わり。やれやれ、また一からやり直しというわけである。こんなことも初めて知った。性懲りもなくまた繰り返した。結果は同じ。しかし、回を重ねると多少対応が違ってくる。情勢の変化も反映し、少しは耳を傾けてもらえるようになった。

「空振り三振でも、見送り三振よりはまし」という言葉を思い出し、気を取り直しては貴重な経験の一つであった。

むかし、「気を使うより頭

を使う」という言葉を聞いたが、頭はもちろんだんだん気も使うことさえできなくなりました。コンマ一くらいの方で後方支援に専念します。

ダウン症は遺伝子の21番目の染色体が一つ多いことから起きる障害です。七百人から八百人中、一人に生まれてくるそうです。体の中心の筋肉が弱いの

じいさん

で両脇の筋肉が左右に引っ張られて吊り目になるそうです。▼ダウン症は、病気とは違いますが、染色体異常は、体質とか、個性の一つと言ったのが関係者の考えです。彼らのことを本やインターネットで知ることができた▼彼らに共通しているのは、明るく、優しく、人なつこい、笑顔が可愛い、周囲の人たちから好かれる性格の持ち主です。どんなに厳しい境遇にあっても彼らは、決して争ったり、悲観したりせず、ありのまま、まっすぐ現実と向き合う力を持っておられます▼しかし、施設生活の指導員は、お母さんに言われます「ダウン症の子は、教えないければ何もできませんよ。普通の子のようにある程度年齢がいけば、見よう、見まねで出来るようになるなんて思わないでください。一つひとつ教えないければ、この子は一生このままですよ」と▼そのため家族は、根気強く、優しく教える努力をされています。反面、ダウン症の子どもの、ごまかしのない豊かな笑顔からやさしくなれるそうです。家族の笑顔が増幅しているようです。そうした家族に優しくささぐさの心を感じます▼ごまかしのある今の日本。やさしさはアメリカだけとは……。



多治見支部、20年の活動史を楽しく、歌と寸劇での報告

第12回大会に参加して

多治見支部 山田 金子

大会に参加して思ったことが二つあります。
一つは、数日前中学生の孫と沖繩問題のテレビニュースを見ていた時「日米安保条約があるから日本はアメリカの言うとおりにしなさい」と言います。
何を説明しようか。一瞬、迷いました。ちょうど手元に『鳥越俊太郎さんの対談』が載った新聞があったので「これ読んで」と渡しました。
しばらくして「ふーん、こういうことか」との一言。
孫が何をどれだけ理解したのかわからなかったが、上手に説明できなかった自分にとってもうしるめたい思いが残りました。

大会での県本部委員長の挨拶、来賓の皆様のお言葉、一つひとつ心を打たれました。学習3分で学んだ真実を子や孫に伝えることができれば、もっともっと努力しなければと思いました。
二つ目は、嬉しい事がありました。代議員の名簿になつかしい名前を見つけたことです。独身の頃、結婚した後もいろいろな活動の場で顔を合わせた人たちが、高齢にもかかわらず元気でいられた。同じ会場で、同じ空気に浸っていることの喜び。又、この次も逢えることを願わずにはいられません。学習3部、楽しみ7分で長生きするぞ。がんばるぞ。

介護を保障しているか

特養ホームの増設を⑤

各務原支部 豊島 和夫

どこでも満員
特別養護老人ホームは、満員で1年、2年の待ちが普通です。要介護1以上は入所資格があるのですが、要介護3以上（ほぼ全面的な介護が必要な状態）でないと入所は困難といわれています。
国は構造改革の一環として社会保障削減政策を進めてきました。介護保険では、介護給付削減、利用者負担の増額になりました。
特養ホームの待機者は、1999年11月約10万人、03年11月24万人と急増しているのに、04年には、国は補助金（施設建設費の2分の1）の申請額を前年度の3分の2

利用者の重い負担

05年には、特養ホームなどの居住費、食費を介護保険の対象外、原則として全額が利用者負担になりました。あまりの負担増に、利用申し込みを取り下げたり、退所を余儀なくされるなどの事例が発生しました。
利用者負担は、1カ月、4人部屋などの相部屋は約8万円、個室は

まともな介護を

施設で、ゆきとどいた介護を保障するためには、介護職員の増員と、労働条件の改善が必要です。
在宅介護の充実、特養ホームの増設、利用者負担の軽減、介護職員の労働条件の改善などのためには、社会保障削減政策を転換し社会保障費を増額すべきです。

約13万円です。低所得者には負担軽減制度がありますが、所得の少ない人は相部屋、所得の多い人は個室に

昨年の総選挙による政権交代は「構造改革反対」の世論の反映であつたと思います。その結果、子ども手当、高校無償化の動きがみられる一方、後期高齢者医療制度の廃止は4年後に先送りされ、しかも新制度として、75歳以上を別働隊としていたのを65歳以上に拡大という改悪案が検討されています。
私たちは、老後の安心のため、後期高齢者医療制度の即時廃止をはじめ、年金、介護などの社会保障制度の改善の声を一層大きくあげていかなくてはならないと思っています。

群馬県の高齢者施設の火災事件に続いて、札幌市のグループホームで、7人が焼死する悲しい事件が起こりました。
「複数の夜勤職員がいたら」スプリンクラーが設置されていたら」とくやまれます。

岐阜県本部 10・11年度新役員名簿

役職	氏名	支部
会計監査	上谷 清	飛騨
会計監査	江尻 達夫	飛騨
執行委員	松下 昌幸	中津川
執行委員	村瀬 文子	岐阜
執行委員	加藤 昌宏	恵那
執行委員	可児 昭治	可児
執行委員	藤下 壽	加茂
会計	棚橋 勝治	各務原
書記次長	山内 典義	岐阜
書記次長	藤垣 正行	岐阜
書記長	岡部 義明	西濃
副執行委員長	上 宗治	土岐
副執行委員長	西尾 澄子	多治見
執行委員長	長谷川 金重	西濃

新しい仲間の紹介

3月と4月の加入者名です。35人です。

前回と同じく9支部で仲間が増えました
岐阜 高橋伊佐夫 堀 憲雄 森本 勲 野口英雄
西濃 高木 正一 高岡瑞美子 小森あけみ 田中 洋子
郡上 細井 善晃
加茂 水越 博 伊藤 道子 猪子 富枝
可児 加藤 正吉 高橋 利博
多治見 足立 一夫 平良 ミヨ 集山サカエ 平 露子
土岐 森西 昭二 土本 伸 福井 隆三 渡辺 秀夫
中津川 所 幸雄 伊藤 達郎 原 博光 井口 勝美
北原 芳 中島 正純 三尾 八重 北原 凌子
牧野 秀子 曾我 伯子 柴田ちと子
飛騨 稲田喜代次 稲田寿代子

試行錯誤の野菜づくり ⑪

今年の3、4月は寒暖の差が大きく、雨がよく降った。それでも春、夏野菜の準備をしなければならぬ。4月1日にキャベツ8本、ブロッコリー7本の苗を購入し、8日に移植して防虫ネットをかけた。ネットを掛けるのは手間がかかるが、蝶々が卵を産むのを防ぐ為になっている。この時期植える薬野菜の苗は60円ぐらいと高く感じるのですが、今は春は種から育てることにした。レタス、サニーレタス、サラダ菜の種を購入し、25センチ四方で深さ4センチの木箱に育苗培度土を入れ、3種の種をまいた。ここで気を付けることは、吹けば飛ばすような種なのでかぶせる

土はほんの少しにしないと芽が出てこないの要注意。芽が早く出てくるようにと軒先の日が当たる所に置いてビニールのカバーを掛けて土が温まるようにした。ほぼ芽が出揃ったが密集しているのので間引きをしなければならぬ。苗が3、5センチほどになったので、5月8日は県年金者組合定期大会（岐阜市）に参加し、翌9日の朝、1週間前に作っておいたマルチの苗床に穴をあけて3種の苗を合計50本ほど植えた。ポット苗のように根に土が十分ついていないので丁寧に。レタス類は8月中旬に同じ様に種をまけば10月末頃には収穫できる。

恵那 加藤 昌宏